

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番
99.5.27 No. 4967

闘いはこれからだ! - 5/23全国総決起集会 -

戦争法案許すな - 全国から総結集

強行採決弾劾!

戦争法案を廃案に、参院採決強行を許すな! ユーゴスラビア爆撃弾劾、朝鮮侵略戦争阻止! 5・23全国総決起闘争は、東京芝公園に全国から二八五〇名が結集して、翌日にも強行されようとしている新ガイドライン関連法案採決阻止の闘いをたたきつけた。集会は三角忠東京反戦共同行動委員会代表の主権者あいつで始まり、連帯のあいさつで、沖縄・名護市議の宮城康博さん・北中城村議の宮城盛光さん・浦添市民の会(メッセーシ代統)、百万人署名運動・組織的犯罪対策法を闘う小田原紀雄さん、三里塚芝山連合空港反対同盟の郡司とめさんと木内秀次さん、北富士忍草母の会の天野美恵さん、関西新空港反対住民四団体から森田恒一さんがそれぞれ新安保ガイドラインと闘う決意を述べた。

つづいて滝口誠反戦共同事務局長が基調報告を行ったのち、自治体の戦争協力に反対し議会で闘う九名の議員が登壇し、代表して西村綾子相模原市議・国賀祥司泉佐野市議・新城節子杉並区議の三氏が決意を述べた。反戦自衛官の片岡頭二氏、日の丸・君が代反対を闘う広島と関西の教育労働者、部落解放同盟全国連合会瀬川博委員長、宮城県自治体労働者、国労日豊オクルグ班、全国各地で闘う学生が



それぞれ決意を述べた。

最後に「沖縄サミットと特措法改悪に反対する決議」を採択したのち、中野洋反戦共同代表がまとめの提起を行なった。中野代表は、①明日の参院採決阻止行動に全力でたとう②ガイドライン反対闘争はこれからが本格的な闘いになる、より本格的な運動をまきおこそう③反戦共同行動の戦力強化・拡大をかちとろうと三点のまとめを行なった。シュプレヒコールののち、日比谷公園までデモ行進した。

組対法の強行採決許すな 5/22組対法三法を廃案に集会

五月二二日、東京・星陵会館において、組織的犯罪対策立法に反対する全国ネットワークの主催で「組対法三法を廃案にのさばるな! 警察 許すな! 戦争への道 五・二二全国集会」が開催された。

組対法は現在国会で継続審議されているが、自公三党の修正案合意により来週中にも衆院で強行採決されようとしている。新ガイドライン関連法の強行採決につづいて、重要法案が次々とまとめた審議もなく採決するなど絶対に許せない。全国からも危機感をもって参集した人々が会場を埋めつくした。

港合同の司会により開会され、組対法に反対する共同行動の小田原紀雄さんが基調提起を行い、緊迫する国会情勢に対する行動方針を提起した。

福島瑞穂参議院議員と保坂展人衆議院議員は国会での自公公のかけひきを暴き、また警察庁に盗聴器を大量納入していたという業者の話など、警察がすでに非合法で盗聴をしているという現実のなかで、この法案はまさにそれを野放しにするものだ。公明党の修正案などなんの歯止めにもならないことは明らかだ。マスコミにも最近ようやく危機感が出始めているが、大衆的に

運動をさらに突き上げてほしいという訴えがあった。

また「突破者」著者の宮崎学氏をはじめ、大口昭彦弁護士、国労新橋支部など各界から組対法廃案の訴えがなされた。

動労千葉からは田中書記長が発言にたち、ガイドライン組対法闘争を資本主義を打倒する思想で闘おうと訴えた。集会後、日比谷公園まで元気にデモ行進した。現代の治安維持法! 組対法を廃案におこもう!

